

日本の紅をつくる町の夏

あか

第24回白鷹紅花まつり / 紅花 colors

紅花が咲き、町中に広がる夏のにおいと、夏の色——。

しらかかの夏を彩るイベントとして恒例の「白鷹紅花まつり」が7月14日～15日の2日間、町内3会場をメイン会場に開催されました。開催24回目を迎えた今年は、2日間で町内外から約3,500人が来場。紅花畑で記念撮影をする人や各種イベント・体験を楽しむ人、そして、心をこめたおもてなしをする地域の皆さん一人ひとりの笑顔が、夏の日差しを浴びた紅花のように輝きました。

また、夏至から数えて11日目、半夏生（はんげしょう）の7月2日からは「紅花 colors」がスタート。今年は白鷹産紅花を使った紅ランチのほか、白鷹産の紅（あか）い食材と夏の食材を組み合わせたSHIRATAKA RED ディナーも提供され、来場者は目と舌で味わうことができる紅（あか）で舌鼓。さらに、期間中に行われた紅花染め体験や紅花色素を使ったワークショップに参加した人たちは、自らの手で「日本の紅（あか）」に触れるという貴重な体験を楽しみました。

日本の紅（あか）をつくる町の魅力がギュッと詰まった夏——。今年もたくさんの方が素敵な思い出をこの場所に残していきました。

素敵な夏の思い出を、
来年もこの場所で——

